



No.38 2019.6.20 発行
群馬県立高崎高等学校 翠巒体育会報
<https://suirantaiikukai.com/>

このたび翠巒体育会報の原稿執筆という貴重な機会を与えていただいたことに感謝しております。私は、高崎高校97期生の堀越雅弘と申します。現在は伊勢崎商業高校の保健体育科の教師として勤務しています。伊商ではサッカーの指導者をやりながらプロサッカーリーグのJリーグ担当審判員として活動しています。

私が高生だった1997年は高崎高校創立100周年でした。当時、できたての翠巒会館で記念式典に参加し、中曽根康弘元首相の講演があったことを思い出します。またその年は高崎高校サッカー部創部50周年で、いろんな意味で節目の年でした。

その年の夏にサッカー部は、京都で開催された全国インターハイに出場することができました。サッカー部の全国出場は10年ぶりで多くの方が喜んでくれました。当時、群馬の高校サッカーは前商・育英の2強時代であり、県内ベスト4まで進んでも2強の壁を切り崩せずにいました。我がサッカー部の監督は、前橋商業高校の校長でご退職された坂田和文先生で、県内外の強豪チームと毎週のように練習試合を経験させてくれました。インターハイ群馬県予選の準決勝(対育英)・決勝(対前商)ともに1-0と堅守速攻で全国の切符を手にする事ができたことは坂田先生のご指導のお陰だったと思います。

不思議ですが、当時の梅雨の匂いや風景の色は今でも鮮明に記憶されています。京都インターハイでは、1回戦・宮



サッカー部OB
堀越 雅弘(97期)

高校教師としてサッカーの指導をする傍 Jリーグ担当審判員として大観衆のピッチに立つ

これまでに、プロサッカーリーグJ1・80試合、J2・113試合、J3・2試合の審判員を務める

崎西に3-0、2回戦・京都桃山に1-0、3回戦・福井丸岡に2-2(PK4-3)、準々決勝・長崎国見に1-1(PK3-4)で全国ベスト8まで進むことができました。

なぜそこまで勝てたかも今でも不思議ですが、恩師や仲間とひとつの目標に対して全力で努力できた結果だと思っています。京都開催ということもあり移動や滞在には多くの費用が必要だったと思います。多くのOBや地域の方々のご支援があり、高校サッカーに集中させてもらった高崎高校の環境には今になって感謝が増すばかりです。

現高崎高校校長の加藤聡先生には、当時3年時の学級担任としてお世話になりました。私は東京学芸大学への進学を決めましたが、最初から教師になりたいという目標はありませんでした。しかしながら、今振り返ると、一生涯サッカーに関わりたいという希望に加えて、高高での魅力ある恩師たちへのあこがれが自分の人生をそうさせたのだと思います。

現在、私はJリーグ審判員としてもサッカーに関わっています。サッカーの審判員を始めようと思った理由は2つあります。1つはプロにはなれなかったがJリーグの舞台へのあこがれを捨てきれなかったこと。もう一つはJリーグを担当できる1級審判員になって自分を育ててくれた群馬に少しでも恩返しをしたかったことです。審判は難しい仕事です。

もし審判が簡単だったら私は続けないと思います。審判は何ゲームやってもうまいかないことがあったり、時と

して答えがでないことがあったり、次はなんとか前回よりも良くしようと努力する繰り返しです。サッカーは、22名のプレーヤーが105m×68mのピッチで数万人もの観衆のなかで試合をします。そのゲームをたった4人の審判員でコントロールすることは容易ではありません。審判員は、4人で協力し納得解を瞬時に絞り出し続けながら、選手を良い試合環境へと導いていくことが求められます。

難しいからこそやりがいがあり、満足できなかった悔しさが、やり続ける原動力になります。審判活動においても、今の自分を支えているのは高高での経験であることに感謝するとともに、ピッチに立つたびに幸せを感じます。

世界はAI技術の進歩で人間の生きる社会構造を大きく変えることは間違いありません。サッカー界でもVAR(ビデオ・アシスタント・レフェリー)が導入され、テクノロジーでファウルか否か、あるいはオフサイドか否かを判定する時代になりました。現在のJリーグでも多くのカメラが会場に設置され、審判員の判定も狙っています。テクノロジーの台頭との対極になりますが、スポーツは人が行い、人が審判するという自然な構図を大切に守りたいと願います。

様々な分野のリーダーを輩出し続ける高崎高校は、私にとって特別な存在であり、永遠に地域のあこがれであり続けてほしいと思います。末筆ではありますが、母校ならびに翠巒体育会のますますの発展を陰ながらお祈りいたします。

Well be Waiting

特別寄稿

翠巒体育会に加盟している高高運動部OB会は現在15団体だが、それ以外でも、現役運動部との交流やサポートをはじめ、旧交を温めている運動部OBたちがいる。そこで今回は軟式野球部OBと弓道部OBたちの思い出や近況を取り上げてみた。彼らの活動の輪が、幅広い年代に広がっていけるよう翠巒体育会は微力ながら応援していきたい。



軟式野球部OB

笠原 良佑 (112期)

日頃は軟式野球部の活動にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。この度、当部にあっても伝統ある翠巒体育に寄稿させていただけることとなり、OBとして格別の思いであります。

1988年(昭和63年)に同好会として発足した当部は、同年群馬県高等学校野球連盟軟式部に登録され、その活動を開始しました。1993年(平成5年)には、前年の秋季県大会優勝を評価していただき、部に昇格するとともに、軟式野球部として栄えある高崎高校運動部の仲間入りをさせていただきました。

今日では28人の部員を数える規模となり、夕暮れに消えゆく白球を追いながら、昔と変わらぬ河川敷の八千代グラウンドにて日々練習に励んでおります。先に行われた平成30年度第59回秋季関東

地区高等学校軟式野球大会群馬県大会では準優勝という成績を収めて3年ぶり4回目の関東大会への切符を手にしており、真の文武両道の一翼を担うべく、精進を重ねているところです。

現役時代を振り返って思い出されるのは、草木に分け入ってのボール探しや、グラウンドを求めて県内を縦横無尽に走り回った自転車移動など、およそ野球とは関係ないことばかりです(苦笑)。たまのバス移動の折には、待ち受ける県外の強豪校をよそに、誰もが遠足に行く児童の如く心を躍らせていた記憶があります。

野球の話をするのであれば、初めて県立敷島公園野球場のグラウンドに足を踏み入れたときの感動は忘れられません。2年生の春、関東大会出場を決めた後の県立太田高校との試合でした。あまりの芝の良さに嬉しくなり、ウォーミングアップそっちのけで何度もスライディングをしたことは懐かしい思い出です。当時

の軟式野球は設備が整っていないグラウンドでの試合もままあったことから、県下随一の球場でプレーできる喜びは筆舌に尽くしがたいものでした。

残念ながら試合には敗れてしまいましたが、延長12回に及ぶ激戦は大変充実した内容で、その環境も含め、高校時代で最も印象に残る試合でした。

部活動である以上、辛いことや大変なこともあります。それでも心から野球を楽しむことのできた3年間でした。共に戦った同期は、今ではかけがえのない友人です。現役生の皆さんにお伝えしたいのは、ひととき大きなカバンの校名よろしく、母校の名を背負って戦う誇りと自覚を持ちつつ、野球を心から楽しんで欲しいということです。そして、何事にも代えがたい高校生活を謳歌して、大切な同期の輪を広げ、高高的伝統を紡いでいただければと思います。

さて、現在当部にはOB会がございませんが、後輩たちの活躍とOBの増加から、顧問の田島先生と小生ら112期生にてその立ち上げを検討しているところです。先んじて、2015年から毎年夏ごろに現役生とのOB戦を開催(2018年は大会直前のため練習の手伝いのみ)しており、少しずつではありますが、現役生との交流を始めております。OB戦には、これまで111期から115期までの皆様にご参加いただいておりますが、今後はより幅広い年代のOBの皆様にご参加いただけるよう、開催時期や周知方法を工夫して参りたいと考えております。

多くの先輩諸兄がいらっしゃる中、若輩者が取り仕切りさせていただいておりますこと誠に恐縮ですが、OBの皆様にお



2016年9月10日 現役とOBとの交流戦(吉井運動公園野球場)

テニス部OB(84期)

山口 正 仁

オーダーメイドの生命保険をお届けしています!

ブルデンシャル生命保険株式会社 品川第二支社

TEL 03-6682-4440 携帯090-9309-9492

芸大美美術系高校 受験予備校 高崎美術学院

高崎市岩押町35-12 ☎027-322-6548

<http://www.art-takabi.com>

社会人のための アートフォーラム高崎

美術教室 高崎市岩押町31-11 ☎027-326-5585

<http://www.art-takabi.com/artforum>

代表 北村 真行 (テニス部85期)

テニス部OB(91期)

原 寛

カネト水産 つりばり・虹鱈料理・手打ちそば

高崎市倉瀬町川浦3900-156 TEL.027-378-3132

ホームページ <http://www8.wind.ne.jp/wakaba/>

かれましては、現役生の継続的な支援体制構築のためにもご協力いただきますようお願い申し上げます。

120年を超える歴史を誇る我が母校にあって、まだまだ歴史の浅い当部ではありますが、その発展にお力添えできまよう努めてまいりますので、皆様のご指導、ご支援を賜れますと幸甚です。



弓道部OB

福田 創規 (109期)

我が母校の弓道場は体育館の脇、護国神社の社務所と隣り合った校地の端にあります。射場のみならず部員の控えもあり、冷蔵庫も完備している県内でも恵まれた道場です。今の部員たちはそこで毎日悠々と弓を引いていますが、彼らはそこに存在していた旧道場、青空道場を知りません。

平成19年に高校入学。私は元々卓球をやっており、中学時代熱心に打ち込んでいたので、高校も卓球部に入部しようと考えていました。放課後、部活動見学のため友人たちと体育館に向かうと、体育館前でなにやら長い棒を持ち、俵のような物に向かって集団がいます。近づくとその棒は弓であると分かりましたが、さして興味のなかった私はそこを素通りしようとした。

すると、その棒を持った先輩が私たちに「一本引いていいぞ」と言います。言わ

れるがままに、目の前の俵(本来は巻藁という)に矢を放つ友人。誰も刺さりもしない。私よりも体格が良く、運動ができる友人でもやはり刺さらない。自分の番が回ってきましたが、それほど気持ちを込めるでもなく矢を適当に放ちました。しかし、偶然というのは恐ろしいもので、矢は巻藁にまっすぐ刺さってしまいました。呆然とする私に、顧問が「君はうまい!」と追い打ちを掛けます。すっかりその気になった私は弓道部に入部しました。

当時の弓道部は屋根のある道場を持たず、安土(的を設置する土壁)のみが校内にありました。雨が降れば的を射ることはできず、きちんとした道場を持つ学校とは環境が異なりました。週に数回、浜川運動公園まで自転車で移動し、高崎市の道場で練習することもありましたが、射ることのできる本数はせいぜい20本。強豪校が自分たちの道場で毎日100本以上の練習をしているのと比べると、時間的にも設備的にも厳しい環境であったというのは言い過ぎではないと思います。

しかし高校1年生の冬、弓道部長年の願いが叶い、校内に屋根付きの弓道場が新設されることとなりました。これは県費のみならず多数のOB諸氏からのご支援もあってのことであったとその後、当時の顧問の先生に聞きました。その翌春弓道場は完成し、環境は一新されました。

初心者ながら上手いと評された私は結局平々凡々な選手として高校時代を終え

ましたが、下手の横好きとして今でも競技を続けています。また尾瀬高校の弓道部顧問として高校生の指導に携わっています。高体連の国体スタッフとして高高弓道部の選手を指導する機会もあり、その中で後輩たちがインターハイや国体で活躍するのを間近で見ることができました。

今では当然のように屋根のある道場、磨かれた床で練習をする高高弓道部。やりたければとことん練習できる道場を持ち、関東大会やインターハイで力を見せる後輩たちを誇らしく思う一方で、その恵まれた環境は様々な方々のおかげで作られたのだということを感じてほしいという思いもあります。

このように書くと、「今の部員たちは恵まれていて、先人たちの苦勞を知らない」という内容にも取られてしまいますが、私はあの青空道場の日々を不遇な「苦勞」だとは思いません。

初めて弓を引いたあの日、青空道場で初めて矢を飛ばしたあの爽快感は、私の弓引きとしての原点になっています。それほど段位を上げ、選手として大成し、指導者として成功をおさめても、明治神宮の弓道場のような立派な道場で弓を引くようになろうとも、私はあの高高の旧道場、青空道場で放った一矢を忘れることはできません。新道場も私の大切な場所ですが、やはり私の原点は屋根も壁もなく、晴れた日にしか射ることのできない、あの青空道場です。



KIZUNA 矢島 裕一(74期)

柔道部の思い出

昭和47年春、入学と同時に柔道部に入部、卒業まで冬の隙間風、夏の蒸し暑さの旧柔道場で過ごしました。当時の顧問は、江原先生で身長197cmの現役バリバリで、一緒に汗を流して頂きました。一つ上の先輩には個性豊かな面々がいて、ある日練習の合間に、ボクシンググローブを持ってきて3分間構えて俺を追い

詰めろという陸上部出身の浅沼さん、構えているだけで滅茶苦茶しんどかったのを覚えています。また、真面目に柔道に打ち込んでいたOB会長の鳥居(旧姓田淵)さん、軽量級の石関さん、倉科さん、工藤さん達と楽しく練習していました。

春休み、夏休みには体力アップと得意技の習得を目指し、新設された翠巒会館(現:3F会館)で自炊合宿をしました。

朝練では観音山のマラソンコースランと、洞窟観音の階段昇降、OBの黒岩さん



内科・皮膚科・泌尿器科・外科
いわい中央クリニック

院長 神保 裕之(スキー・スケート部83期)

診療時間 AM9:00~12:30 PM3:00~6:30
休診日 木曜午後・土曜午後・日曜・祝祭日

安中市岩井2465-1 ☎027-381-2201 電話予約可



産科婦人科
館出張

佐藤病院

院長 佐藤 雄一
スキー・スケート部OB(86期)

〒370-0836 群馬県高崎市若松町96
TEL.027-322-2243 / FAX.027-322-8248
http://www.sato-hospital.gr.jp/



沼野クリニック

内科・胃腸科・外科・皮膚科・美容外来(予約制)

院長 沼野 藤雅(スキー・スケート部89期)

診療時間: AM9:00~12:30 PM3:30~6:30

休診日: 日曜・祝日 皮膚科、美容外来は木曜のみ診療
高崎市柳川町15番地 ☎027-322-2926

が洞窟観音で待ち構えて、「ガンバ、ガンバ」と竹刀?をもって気合を入れてくれました。

午後の練習では、県警機動隊の柔道師範の鈴木さんが、隊員を連れて来て、元立ちで学生をおもちゃ扱いしていたこともあり、桜井先生、石井さんがまだ現役に近く、稽古をつけていただきました。また、農二が近いことと、顧問の岸先生が高高OBということもあり合同練習としてきてくれました。

合宿の打ち上げは、矢島家の焼肉のたれと、同期の戸澤君の父の勤務する高崎ハムから調達したラム肉のジンギスカンでした。疲労回復と最終日への鋭気を養いました。ジンギスカンが3年続いたのは間違いのないと思います。

翠巒祭では同期のキャプテンの金井君がキャンディーズ?ピンクレディー?だったか、女装し、振付つきで歌い拍手かっさいでした。

柔道部なのに五月の総体では桐生で相撲に出場、初めてのまわしに違和感だらけでしたが、内また、大腰等の投げ技が有効でそれなりに勝ち上がれました。でも外でまわしへ着替えるのは恥かしかったなあ!

戦績ですが、先輩後輩に恵まれ三年連続で関東大会へ行くことができました。帯広畜産大でも柔道を続けられたのは高崎高校柔道部のおかげと思っています。さらに授業でラグビーをやっていたことで、大学四年の秋から助っ人としてラグビー部へ転身、現在もラグビーにかかわっています。



KIZUNA

市川 英久(91期)

関東大会への切符

在学当時の我々のバイブルは漫画「柔道部物語」だった。部室に置いてあり台詞を暗記するほど何百回と読んだ。漫画に出てくるような厳しい合宿、強烈な個性の先生・先輩、奇抜な独自の技など、本当にあった。漫画のようなサクセスストーリーではなかったが、つらくも楽しい充実

した「柔道部物語」だった。

高崎高校柔道部の歴史の中で、かつては団体戦でもインターハイ・国体出場などの輝かしい実績もあり、OBの大先輩方からは「関東大会出場は当たり前」と言われていたが、部員数の低迷期もありしばらく出場することが出来ていなかった。主将となり迎えた3年の春、久しぶりに団体戦での関東大会出場を勝ち取ることができた。

4強の一角を倒さないと関東大会には行けない、組合せが決まると相手チームの研究をみっちりやった。相手選手のクセをビデオで研究し、それに対応する稽古をひたすらやった。他の強豪校に比べると我々の練習時間は短かったのも、そこを「考える柔道」で補うつもりでやっていた。当時の関東大会は先鋒・次鋒・中堅が71kg以下、副将・大將がそれ以上というレギュレーションだった。関東大会出場のためにカギとなる試合(伊勢崎商業戦)は今でも鮮明に覚えている。顧問の(強烈な個性の)恩師 寺町良次先生からは、先鋒だった私が勝てるかどうかで『関東』が決まると言われていた。

喧嘩四つ組手で互いに『内股』が得意の先鋒戦、開始40秒ほどで研究してきた『内股すかし』が決まり「技あり」。しかしそれから一進一退の攻防が続き、両者もつれて畳の外に落ちた。その時、私の体の中で「ポキッ」と音が聞こえた。応援してくれていた仲間の耳にも、落ちた際に下の板の間と相手に挟まれ、肋軟骨を骨折し

たのだった。しかしここで試合をやめるわけにはいかない。アドレナリンが出まくっていたようで痛くはなかった、勝ちたいという思いが強かった。その後も互いに「有効」ポイントを取り合ったが、最初の「技あり」が効いて優勢勝ちとなった。

次鋒以下4人のメンバーも踏ん張ってくれて『1-1の内容勝ち』で勝ち上がることが出来、見事関東大会への切符を勝ち取ることができた。その後、後輩たちは関東大会出場を続けてくれており、「関東は当たり前」となっている。

OB会からも多大なご支援を頂き、水戸での第39回関東大会に出場したが、残念ながら予選リーグで敗退し決勝トーナメントには進めなかった。神奈川の桐蔭学園と対戦したが、組み手・技の入り方など全てにおいて上だと感じた。国士館高や東海大相模などの有名校と同じ畳で柔道できたことは、卒業後も柔道を続けていく中で大きな刺激と自信になった。

社会人でも当時勤めていたミズノ株式会社で柔道部を作り、全日本実業団などにも出場した。あの時関東大会に出ていなかったら、そこまで柔道を続けていなかったかもしれない。

46歳となった今、久方ぶりの柔道着に袖を通して。小学生の下の子が柔道を始めたので、通っている櫻井道場(高崎市飯塚町)で一緒に柔道を楽しんでいる。今年1月3日の高崎高校柔道部初稽古にも子どもを連れて久々に参加した。ケガだけはしないようにと慎重に稽古さ



株式会社広田住宅センター



代表取締役

広田 金次郎(柔道部95期)

高崎市田町38(群馬銀行高崎田町支店隣)

TEL.027-325-0055 FAX.027-330-1181

株式会社
市川食品

〒370-0088 高崎市行力町270-2

TEL:027-344-5800 www.yuuhachi.co.jp

代表取締役社長 市川 英久(柔道部91期)

高崎駅西口

木屋駐車場

TEL 027-322-5712

〒370-0052 高崎市旭町128

鳥居 吉二(柔道部73期)

せてもらったが、懐かしい場所でいい汗をかくことが出来た。

高高柔道部での3年間は私の人生の基盤になっているなあとつくづく感じた。すばらしい仲間と柔道を共に出来たこと、柔道を通じて学んだたくさんしたこと、これからも大切にしていきたい。



KIZUNA

角田 裕祐(112期)

私の柔道人生

私、柔道部ならびに112期卒業の角田裕祐と申します。高崎高校では3年間底辺を支えた後、慶應義塾大学に進学し柔道にまみれた生活を4年送り、現在は東日本旅客鉄道株式会社に勤務しながら国体に出たりしつつ今も懲りずに趣味で柔道を続けております。

翠巒体育会報の筆を執るにあたり高校時代を思い返しましたが、ひたすら柔道に打ち込んだ記憶しか出てきません。それくらい柔道にのめりこんだ3年間でした。

私は小学校入学と同時に町の柔道場で柔道を始めました。この柔道場が大変スパルタなところで、今ほど体罰なんかに対してうるさくない時代だからこそ成り立っていたようなそんな環境でした。小学生の時には個人全国優勝を果たし厳しい稽古に耐えただけの結果を出すことが出来ました。ただ、当然柔道を嫌いとはまではないかなくても決して好きになれるような環境ではなく、案の定中学では伸び悩み、何の結果も出すこともできませんでし

た。そんなこんなで煮え切らぬ思いをもって高崎高校に入学しました。

高校では鳥居先生、田中先生2人の恩師にご指導いただきましたが、共通することは「頭を使って柔道をしなさい」ということでした。これは今まで体で覚えることしかしてこなかった私からすると衝撃的なことでした。練習メニューは先生ではなく主将がチームに必要なことを考えて組み、時には陸上部など他部と合同でトレーニングし、下半身の安定性、柔軟性が必要だということで相撲にも取り組みました。普段の稽古ではその日を振り返る「技の研究」の時間がありました。この時間を通して技や組み手のレパートリーが格段に増え、私の柔道の幅を広げられました。日々自分自身の成長が感じられ、柔道の奥深さに気づき柔道にのめりこんでいった次第です。

2人の恩師に柔道を心の底から好きにさせてもらえたことに感謝しかありません。結果としては3年生のインターハイでは5位(準々決勝では後にオリンピックで優勝したベイカー選手に16秒で投げられました)、その後大学でもインカレ9位と再び全国レベルで戦える選手に戻ることが出来ました。

これは私の持論ですが、2つの大きく異なる環境で稽古を積めたことがなにより私を強くしてくれたと思っています。私たちアマ(高生、今の私など)がプロ(私立強豪校、警察など)に勝つためには柔道のために使える時間、環境が違う以上同じ事をやっていたら勝てません。そこで頭

を使って効率化をするのです。しかし、ただ効率化すればそれでいいのかというとそんな単純な話でもありません。心肺機能やメンタルの強化のためにときにはがむしゃらな練習も必要だと思うのです。

私が現役の頃からそうなのですが、高生は頭を使うのはうまい一方でそれに頼りすぎ、がむしゃらさを好まない節があるように思います。自分自身の柔道人生を振り返ってみて、小中で「スパルタ教育」を受けたことで強靱な精神力と屈強な身体を獲得し、高校で「頭を使った柔道」を実践したことで柔道の幅が増しただけでなく試合中も相手の心理まで考えながら戦えるようになりました。いろんな局面で多くの方々にご指導いただくなかで様々な考え方、視点に触れることが出来たのは本当に有難いことです。

最後に高校時代に1つ心残りがあるとすると、先輩たちが受け継いでくださった団体の県大会のベスト4シードから私の代で陥落してしまったことです。一度失ったシード権を取り戻すことは容易なことではありませんが、昨年後輩たちが新人戦にて強豪前橋育英高校を破り再び高崎高校はベスト4に返り咲くことが出来ました。

現役の後輩たちを頼もしく思うとともに、私の心の中にあったもやもやが解消されたように感じました。このままの流れで夏の試合シーズンも戦い抜いて、後悔のないように引退してもらえたらと思います。今後も部活にお邪魔することがあると思いますが、相手をしていただけると嬉しいです。

平成30年4月1日○平成31年3月31日

- 4 3日●第1回役員会議
10日●第1回編集会議
- 5 24日●関東大会出場の部へ祝金
- 6 5日●第2回編集会議
7日●監査役会
12日●第2回役員会議
21日●第44回定期総会・懇親会
●翠巒体育第37号発行

- 7
- 8 7日●インターハイ出場の部へ祝金(水泳部)
23日●ゴルフ大会役員会議
28日●若手を増やす会(WFK)
- 9 2日●第28回ゴルフ大会
- 10
- 11 13日●高崎高校マラソン大会
優秀者表彰

2018事業報告

- 12 6日●翠巒体育会忘年会
- 1
- 2
- 3 1日●高崎高校卒業式

めまい・補聴器・アレルギー
各種日帰り手術

清水耳鼻咽喉科

院長 清水 祐二
(サッカー部73期)

●診察時間 午前 9:00～12:30/午後 2:30～6:30

●休診日 日祝祭日・土曜日午後

<http://www.shmz-ent.com/>

高崎市京目町321-4

☎027-353-4533



●第44回 定期総会・懇親会



●翠巒体育会忘年会



●役員会議(2018.6.12)



●関東大会出場祝い金贈呈

第44回定期総会・懇親会

スキー・スケート部／寺澤 佑介(95期)

翠巒体育会の第44回定期総会及び懇親会が、平成30年6月21日(木曜日)グランビュー高崎にて開催されました。

大田部功会長より、WFK(若手を増やす会)の益々の拡充をはかりたいとの挨拶がありました。その後、平成29年度事業報告、会計報告、監査報告が行われ承認されました。続いて平成30年度事業計画案、予算案が滞りなく承認されました。

議事の終了後、報告事項として第26回同窓会ゴルフコンペ(幹事82期)と第117回高中・高高同窓会(幹事88期)の日程紹介及び参加の呼びかけが行われました。会議の終盤に、国峯善次郎顧問より、翠巒体育会の母校への功績は大きかった、これからも新しい時代の幕を開いてほしいというお言葉をいただき、定期総会は閉会となりました。

引き続き行われた懇親会は、大田部功会長、加藤聡校長、立見友孝同窓会本部幹

事長、富岡賢治高崎市長から挨拶をいただいた後、高橋浩生顧問の乾杯の発声により和やかに始まりました。

会の中では各運動部の活動報告や、各OB会の近況報告があり、写真撮影なども行われ大いに盛り上がりしました。また水泳部の関東大会出場の御祝い金が大田部功会長から加藤聡校長に渡されました。

最後に応援部のリードにより全員で翠巒を合唱し、岩田武雄顧問による挨拶にて無事終了いたしました。

第2回WFK(若手を増やす会)

応援部／櫻井 健一(87期)

平成30年8月28日に市役所21階アートマルシェで第2回WFK(若手を増やす会)が催されました。今回も前回に引き続き、各部から多くの参加をして頂きました。

85期～112期という幅広い年齢層で交流させて頂き、かつての高高の学生生活の話題で盛り上がり、あっという間の

ひと時が過ぎました。

今回で2回目のWFKは、新たに参加した人もいましたが、第1回に引き続き参加した人もいて、翠巒体育会の縦の繋がりを改めて実感できました。

翠巒体育会の存在や同窓会活動について知らない人も多く、高崎高校同窓生のつながりが少しでも大きくなり、卒業してからの新たな社交の場になるのではないかと、WFKの活動に期待しています。

卒業してしまうと何かと疎遠になってしまいがちな友人や、当時の先輩・後輩たちとの再会の場として、翠巒体育会や同窓会の存在は大きいものだと思います。

今回のWFKでも、いろいろな職場で働く先輩や後輩たちの面白い話題が絶えず、各テーブルでは時々爆笑がおこるのが聞こえ、盛り上がっている様子がうかがえて楽しかったです。まだ参加していないOBの方がいたら是非一度参加をしてみてください。

サカサカ酒
有限会社 仲沢酒店
仲澤 賢一 (バスケットボール部 第86期)

高崎市八千代町1-12-4
(和田橋通り)
電話 027-323-1621
FAX 027-326-2141

(社)日本N/A協会認定 シニアN/A
(社)日本N/A協会 群馬支部支部長
ホームページ
<http://www.nakazaka.com>

株式会社 塚本工務店
塚本 浩史 (バスケットボール部 99期)

本社 〒375-0024 群馬県藤岡市藤岡1848-1 TEL.0274-23-1212(代) FAX.0274-24-2300



↑●若者を増やす会(WFK) ↓●会報誌編集会議(2018.6.5)



●第28回 翠巒体育会ゴルフ大会



●高崎高校マラソン大会 優秀者表彰



●ゴルフ大会 団体優勝の硬式野球部OB会



●個人優勝の佐藤氏

翠巒体育会忘年会

水泳部/島崎 秀明(77期)

昨年末、後輩である山岸君(79期)から【翠巒体育会忘年会】への出席依頼メールが届きました。

以前、彼から「水泳部は大きなテーブルに自分一人だけ」といった経験談を聞いた事があり、いつまでも後輩に惨めな思いをさせてはならぬといった正義感が不思議と芽生え、ここで一念発起し山岸君、糸井君(79期)、私の3名で当会に出席することにしました。

当日指定されたテーブルは山岳部と同席、しかし驚いた事にメンバーには卒業期が3桁の若手が居るではないか。それに比し我が水泳部は60歳前後の固まりといった具合で、若手への継承が上手くいって無い事を痛感。そして、遠方出張の疲れも手伝い酒が程よく身体に染み通った頃、近くを野球部のエースだった同期であるK君が通りかかり昔話に話している中、多分に自慢ともいえる野球部OB会

の話聞き何とも羨ましい気持ちがこみ上げ、早速山岸君、糸井君両名に「水泳部もOB会を創ろうぜ!」と捲し立てると、酒の勢いもありいとも簡単に【OB会やりましょう!】と即答。

この話を今年の新年会で提起すると満場一致で出席者全員の賛同が得られ、早速OB会準備委員会を立ち上げる事ができ、今年中にはOB会のキックオフが図れそうであり大変喜ばしい限りです。

今後ともOB皆様のご健康、ご活躍に水泳部OB会が少しでも役に立てられるよう盛り上げていきましょう。

第28回ゴルフ大会 団体戦優勝

硬式野球部/高田 俊輔(102期)

高崎高校102期卒業生の高田俊輔と申します。昨年度、サンコー 72にて開催されました翠巒体育会ゴルフコンペに硬式野球部OBとして初参加させていただきました。ありがとうございました。

同コンペの結果は、硬式野球部がサッ

カー部との頂上決戦を制し、見事に優勝! ハイレベルな接戦ではございましたが、大会連覇を実現することができました。

私自身、普段は都内の一般企業に勤務しており、勤めている会社の従業員の一人という意識がどうしても強くなってしまっているのですが、この翠巒体育会ゴルフコンペに参加させていただき、高崎高校OBの一員であるという実感とその喜びを改めて持つことができました。

社会人として数多くの経験を積み、ご活躍されている諸先輩方とスポーツを通じ、和気あいあいと在籍当時の高校生活の話なども交えながらお話をさせていただいたことが本当に貴重な体験でした。

高崎高校で掲げられる文武両道の精神は、私にとって本当に大きな財産となっています。実際、高生高生の取り組みの姿勢や当たり前のレベルって本当に高いですよ! そう思うことが卒業以降、数多くございました。

部活もわりと強くて、頭も良い、そして、それ以上に人としてしっかりしてい



整形外科
ワイズクリニック

■ 整形外科 ■ リウマチ科 ■ リハビリテーション科

院長 **吉田 和人** (サッカー部 81期)

URL <http://www14.plala.or.jp/ysc>

診察時間	午前	午後
月～金	9:00～12:30	3:30～7:00
土	9:00～12:00	1:30～4:30

●休診日: 木曜・日曜・祝祭日

〒370-0015 高崎市島野町1038-1

TEL: 027-353-0550

るというのが高生生の良さだと思いますので、そのたくましく、また、さわやかな文化が今後も継続し、発展しくことを心より願っています。

私自身も社会人として活躍することで、母校に貢献していければと考えております。

翠巒体育会をさらに盛り上げるべく、100期以降の若手OBにも積極的に声をかけていきたいと思っています。次回も絶対に優勝するぞ！引き続き、宜しくお願い致します。

第28回ゴルフ大会 個人優勝

バレーボール部/佐藤 貞治(70期)

以前19回の大会で優勝させていただいて以来、二度目となる大きな栄誉をいただき大変感謝しております。

また、平成30年6月に、29年に続き二年続けて二度目のホールインワンをする事となり、大変驚いていたさなかでの栄誉でした。

三十代からゴルフを始めましたが、こ

のような事が立て続けに起こることなど予想もつかない事態に、自分自身も大変驚いております。

思えば、十年以上前に友人から、バレー部の大会出場者が少ないので参加しろよと促され、人数の足しになればと参加したのが始まりでした。以来だんだんに時間の余裕もとれ、最近ではやっと八十台のスコアで回れるようになり、バレー部に貢献できるかと大変うれしく思っています。

仕事が一段落した今、ゴルフが家の仕事の次に中心となる生活を送っております。このような第二の人生を送らせてもらえるのは、家族の理解、貴重なゴルフ仲間があってこそ、と感謝するこの頃です。

また、このような大会に参加させていただくたびに、先輩方が元気にまた、立派なスコアでゴルフされているのを拝見し、自分もあなりたいと願ってやまない毎日です。

今後もバレー部に貢献できるよう、また楽しんでゴルフが出来るよう、精進したいと思います。

最後に、今大会で同伴していただいた方々、翠巒体育大会運営に尽力してくださった方々に深く感謝申し上げます。

ありがとうございました。

第28回ゴルフ大会結果

●団体戦

順位	運動部名	GROSS	HDCP	NET
1	硬式野球	310	12.0	298.0
2	サッカー	314	15.6	298.4
3	陸上競技	331	32.4	298.6
4	スキー・スケート	339	42.0	297.0
5	ソフトテニス	343	36.0	307.0

●ネット個人戦

順位	氏名/運動部名	高崎	岩平	GROSS	HDCP	NET
1	佐藤貞治(バ)	45	40	85	15.6	69.4
2	橋爪洋介(卓)	37	36	73	3.6	69.4
3	沼野藤雅(スキ)	43	40	83	12.0	71.0
4	大田部功(テニ)	40	36	76	4.8	71.2
5	横田裕正(スキ)	39	43	82	10.8	71.2

●グロス個人戦

順位	氏名/運動部名	高崎	岩平	GROSS
1	渡邊俊裕(サッカー)	36	35	71

30年度 翠巒体育会会計報告

収支計算書 (自平成30年4月1日 至平成31年3月31日)

科 目	金 額	摘 要
収入の部		
年会費収入	375,000	15部
同窓会補助金	300,000	高崎高校同窓会
広告費収入	336,000	15部
親睦会収入	290,000	平成30年6月21日 ホテルグランビュー高崎
ゴルフ大会収入	336,400	平成30年9月2日 サンヨー72カントリークラブ
翠巒体育忘年会収入	275,000	平成30年12月6日 ホテルグランビュー高崎
雑収入	408,000	同窓会ゴルフ補助金、祝金 会議個人負担、寄付金
受取利息 (当期収入合計)	5 (2,320,405)	群馬銀行
特別会計取崩金	0	特別会計より取り崩
前期繰越収支差額	916,985	
収入の部合計	3,237,390	

科 目	金 額	摘 要
支出の部		
総会・親睦会費	487,440	平成30年6月21日 ホテルグランビュー高崎
現役等補助金	195,990	関東大会、インターハイ等 出場の運動部、 マラソン大会
会報発行費	452,520	「翠巒体育」第37号
ゴルフコンペ費	263,683	平成30年9月2日 サンヨー72カントリークラブ
翠巒体育忘年会費	352,200	平成30年12月6日 ホテルグランビュー高崎
W.F.K (若手を増やす会)	145,000	平成30年8月28日 市役所21F アートマルシェ
慶弔見舞金	12,073	祝電等
事務用品・通信費	302,567	ホームページリニューアル等
会議運営費	231,990	編集会議、役員会議等
銀行振込手数料	1,512	群馬銀行
(当期支出合計)	(2,444,975)	
特別会計拠出金	0	特別会計への拠出金
支出の部合計	2,444,975	
(収支差額)	(△124,570)	(当期収入合計) -(当期支出合計)
次期繰越収支差額	792,415	収入の部合計 -支出の部合計

財産目録 (平成31年3月31日現在)

科 目	金 額	摘 要
資産の部		
現金	28,676	現金手許有高
預金	763,739	群馬銀行高崎栄町 (普)0783238 一般会計分
正味財産	792,415	

特別会計 (平成31年3月31日現在)

科 目	金 額	摘 要
資産の部		
普通預金	801,501	群馬銀行高崎西 (普)0593363 特別会計分
特別会計財産	801,501	

口座振込ご利用の場合は、下記口座までお願いします。

群馬銀行 高崎栄町支店
普通預金0783238

スライタイクカイ カイケイ シミズ ハジメ
翠巒体育会 会計 清水 元

総合探偵社 シークレットジャパン 群馬

群馬県公安委員会 証明書番号第42170018号

https://secretjapan-g.com

身辺・信用等の行動調査及び民事の被害対策など...

代表 松井 高志 (水泳部 81期)

〒370-0824 群馬県高崎市田町74-3 PALACE TAKASAKI 4F

☎0800-700-4869 E-mail: info@secretjapan-g.com



群馬セラミックス株式会社

取締役会長 小貫 諭 (水泳部 69期)

本社工場 群馬県藤岡市上大塚1713-2
TEL:0274-22-2096 FAX:0274-24-4974
吉井工場 群馬県高崎市吉井町小串792-1
TEL:027-387-8677 FAX:027-387-8678
E-mail: onuki@guncera.co.jp
http://www.guncera.co.jp/



株式会社山岸製作所

薄肉切削(旋盤)加工のエキスパート

専務取締役 山岸 祐二 (水泳部・79期)

浜川本社工場 高崎市浜川町590-23 TEL:027-360-4100

八幡工場 高崎市剣崎町21-1 TEL:027-387-0505

OB 各運動部OB会の近況報告



陸上競技部

茂原 賢三
(89期)

平成最後の正月に開催された箱根駅伝で115期卒で國學院大学3年の茂原大悟君が、往路4区に出場しました。当大学は往路3位に入り、これに貢献する走りを披露しました。これまで高崎高校出身で箱根駅伝に出場は84期黒澤一道氏(中央大)、103期飯塚淳司氏(早稲田大)、103期関敏則氏(中央大)、110期関口頌悟氏(法政大)の4名がいて、茂原大悟君が5人目の高崎高校出身の箱根駅伝ランナーになりました。ちなみに前橋高校卒の箱根駅伝ランナーはデータが残っている限りではたった1名であり、この点でいえば高崎が前高を圧倒しています。

また、陸上競技部OB会は平成30年度に役員の改選が実施され、会長に甲斐俊輔氏(87期)が就任して、併せて執行部のメンバーも80期代後半～90期代に入れ替わり、新しい体制に生まれ変わりました。これまでの本OB会の長らくの重い課題の一つに、80期代後半～90期代の活動への参加状況が芳しくないという点があります。これを期に、年齢でいえば30～40歳代に相当する80期代後半～90期代のOB各氏の、積極的な参加をお願いしたいと考えております。

例年7月に高崎市内で本OB会総会・懇親会が開催されており、本年度も同様に予定されています。年号が新しく令和になりました。このタイミングで本OB会も体制も含めて新たな動きができることを願いたいと思います。



スキー・スケート部

寺澤 佑介
(95期)

いつもOB諸兄、および関係者の皆様には大変お世話になっております。

スキー・スケート部OB会の昨年度の活動としましては、十一月十日(土曜日)、OB総会、そして懇親会を高崎市内、割烹多喜にて行いました。OB総会も第六回にな

り、参加人数は十五名でした。

また現役生支援活動として、十二月二十四日(月曜日)から二十六日(水曜日)、尾瀬戸倉スキー場にて、プロスキーヤーで72期の角皆優人さんをコーチに招聘、強化合宿を行いました。

現役生の強化につながってくれたものと思います。

スキーは特に物質的な負担も多いスポーツです。スキー・スケート部OB会としましては、そうした部分で出来る限り支援し、現役生が競技に打ち込める環境を整えて参りたいと思っています。

スキー・スケート部自体が、例年、新入部員が少ないようです。またOB会の方も、若手の参加が少ないと思います。若手OBの皆さん、どうか今年こそは冬に行われるOB総会、懇親会の方に、足を運んでいただければと思います。



応援部

木村 康夫
(83期)

私たち応援部OB会は、翠巒祭での定例リーダー公開祭や四校合同リーダー公開の開催支援、運動部応援への同行、そして各季合

宿への陣中見舞いなど、年間を通じて現役応援部員の活動を支援してきました。とりわけ2016年春からは現役部員の普段の練習・日常の部活動への関与・指導を継続的におこなうことに踏み出してきました。

近年現役部員の減少が続く、2012年の甲子園選抜大会での「応援優秀賞」受賞という栄誉はあったとはいえ、その後も肝心の部活動の足元は苦闘が続いてきました。

他運動部には、それぞれのスポーツを統括する競技団体があり、統一的なルールが制定され、蓄積されたメソッドも存在することでしょう。比して現役リーダーに高高応援部の型を継承し教授することができるのは、高高応援部で型を習得したOBだけであり、そして高高応援部の「精神」を伝えることができるのも高高応援部で時を過ごした我々OBのみなのです。ならば応援部OBとして怯まず「今」一步を踏み出そう、とOB会役員を中心に論議を重ねた結果の決断でした。

そして今年の3月、入学時から関わってきた部員たちが高高そ

(山岳部79期) キッチン・バス・トイレ・耐震・省エネ
地域と共に50年
リフォーム工房 株式会社スカワ
代表取締役 須川 光一
高崎市倉賀野町1717 (倉賀野駅南口・駅前通り) **0120-827-026**
リフォームスカワ 検索

山岳部OB(84期)

代表社員・税理士 真下 哲夫

税理士法人 真下経営

高崎市倉賀野町3557-4 TEL 027-346-1463

山岳部OB(78期)

税理士 吉井 章一

吉井章一税理士事務所

高崎市上中居町251 TEL 027-328-6701

して応援部を卒業していきました。入部当初は本当にひ弱で練習に耐えられるのかと心配し、時には正面からぶつかり合い、反発もされ、現役指導に携わってきたOBとして幾たびか、投げ出したくなる思いもしてきた彼ら。しかし最期の舞台では、見事に成長した姿を披露してくれた後輩たち。まぎれもなく高高応援部の「魂」をしっかりと受け継いだ彼らの姿に感無量でした。

残念ながら今年は3年生部員が不在で2年生部員がリーダーを務めるという危機的状況は続いています。私たち応援部OB会はさらに現役部員と力をあわせ、応援部の活性化そして高高運動部の応援に取り組んでいく所存です。翠巒体育会ならびに各運動部OB会の皆様には一層のご支援・ご協力をよろしくお願い致します。 押忍



サッカー部
安藤 英彦
(86期)

サッカー部OB会は、今年3月の卒業生27人を加えて会員900人を超えました。

現役選手への活動補助応援を第一に考えて、活動しています。現役選手は、リーグ戦(高円宮杯U-18サッカーリーグ)を2部ブロックと3部Bブロックで戦っています。また、5月の総体6月インターハイ予選、10月の高校サッカー選手権予選での上位進出を目指して懸命に戦っていますので、それを応援しています。



1月2日恒例の初蹴会は、初の試みとして、より多くの参加者が初蹴りを楽しめるように、従来の高崎高校グラウンドから和田橋運動広場サッカー場4面に変更し、トーナメント戦を開催して、初蹴りを楽しみました。来年以降もっと多くのOB会員が初蹴りを楽しめるようにゲーム参加方式を改善模索中です。

OB会総会懇親会は、例年2月第3土曜日に開催されます。今年は2月16日に高崎ホワイトインで開催されました。こちらも多くのOB会員が参加して、懇親を深めています。

OB会員が中心となって運営している翠巒クラブは群馬県サッカーリーグ2部に所属して、サッカーを楽しんでいます。若返りに成功して、2部でも充分戦えています。

現役選手試合結果、翠巒クラブの活躍などOB会ホームページに随時アップされていますので、参照して下さい。

これからも、サッカー部及びサッカー部OB会のご支援ご協力をお願いします。



ソフトテニス部
小林 優介
(103期)

平成30年8月26日(日)晴天のもと、高崎高校テニスコートにて毎年恒例のOB、現役との親善試合が行われ、35度を超える猛暑の中、57期飯塚先輩を始め68期丸山先輩、74期田口先輩、74期森先輩、75期石田先輩が参加されました。若手は102期から113期が集まり、現役と熱戦を繰り広げていました。

夕方からは、萬嵐にて懇親会を行いました。55期峰先輩から112期まで10名のOBが参加し、現役生は21名参加しました。現役からは「インターハイに出場する。」と意気込みを語ってもらい、最後には全員で応援歌「翠巒」を歌って終わりました。

現役も試行錯誤しながら、練習に取り組んでいます。OB会からは30年度はボールを10ダース送らせていただきました。ぜひOBの方々には時間の許す限り高高的コートへ足を運んでいただき、現役と共に汗を流してもらえると、OBと現役の繋がりの深い部活へと進化していけると思います。これからも高崎高校ソフトテニス部が発展していけるよう、是非OBの方々には応援していただきたいと思います。



SAN-ESU nanoclea PREMIUM DEO
サンエス工業株式会社
代表取締役 清水 威 (硬式野球部・85期)
本社 高崎市下室田町1159-2 TEL.027-340-1581
高崎工場 高崎市町屋町710 FAX.027-340-1591

創業明治11年
総合建設業・一級建築士事務所
製材・プレカット・アスウッド
ISO-9001 認証取得
株式会社 研 屋
専務取締役 清水 正郎 (硬式野球部・75期)
本社/高崎市飯塚町805 TEL.027-361-5095

硬式野球部OB **ハワイウォーター**
小林 均 (77期)
有限会社 小 金
〒370-0865 群馬県高崎市寺尾町1614
TEL 027-325-4411(代) FAX027-325-4445



柔道部

角田 壮琉

私達柔道部は現在、顧問の田中先生、副顧問の大隅先生のご指導の下、3年生3名、2年生5名、1年生2名の計10名でインターハイ出場と総体での関東大会勝利を目標に、日々練習に励んでいます。私達は県内の強豪校と比べると人数は少なく、練習時間も劣っています。そんな中で、私達が意識しているのは、自分達で考えて練習をすることです。大会や練習試合の後には部員全員で話し合いをし、それぞれの良かった点と改善点を出してその更なる向上、改善に向けた練習を心がけています。

最後に、日々指導をして下さる先生方や支えて下さる保護者の方々、OBの方々への感謝の気持ちを忘れることなく、日々の練習に励んでいきます。これからも応援よろしくお願いします。



バドミントン部

小谷野 桂太

私たちバドミントン部は顧問の市川先生、星野先生のご指導の下、1年生19人、2年生11人、3年生6人の36人で活動しています。

私たちは関東大会出場を目標に掲げて練習しています。しかし、高高校はほぼ全員が高校でバドミントンを始めたため、知識や経験が圧倒的に劣っています。そのため、日々自分たちで試行錯誤を重ね、特にフットワークなどの基礎や体力作りを怠らないようにしています。そして一人一人が自分の足りない点を把握して、一分一秒も無駄にしない意識をさらに高めていく必要があると思います。また、あいさつや応援を元気にし、さらに活気ある部活にしていきたいです。日々感謝を忘れずに練習に全力で取り組んでいきます。応援よろしくお願いします。



弓道部

長滝 涼生

私たち弓道部は現在、東宮先生、森戸先生のご指導のもと、3年生10名、2年生13名、1年生13名の計36名で活動しています。

高崎高校弓道部二度目の全国大会出場を目指して日々精進をしている私たちですが、昨年度に先輩方から代替わりをしてから目立った結果を残すことができていません。練習で良い記録が出せても翌日の大会では思い通りの結果が出せないことが度々ありました。

はっきり言って私たちは勝利に飢えています。先輩方の活躍を見てきたからこそ、今度は自分たちの力で勝利をつかみたいという熱い思いが私たちの原動力です。この熱い思いに支えられる活気のある練習と、普段の鍛錬で培った集中力で夏の大会を全力で戦い抜きます。今後ともご指導、応援のほどよろしくお願いします。



卓球部

平野 智洋

卓球部は現在、長谷川先生、須田先生、中島先生のご指導の下、3年生3人、2年生9人、1年生8人の計20人で活動しています。

私たちの目標は県ベスト8はもちろん、長年敗北を喫しているライバル前橋高校に勝利することです。近年は、世間で空前の卓球人気もあり、卓球が本当に“好き”な部員が活動しています。この気持ちを糧に練習では各々が試行錯誤を重ね、練習量の多い上位校に勝つべく頭を使ったプレーを展開しています。常に自分をスポーツマンとして認め、軽視しがちな体力トレーニングを行って、目標を見据えたレベルアップも図っています。

卓球は個人プレーですが、目標のために部員が団結し、指導、支援して下さる方々への感謝を忘れずに戦っていきます。応援よろしくお願いします。



硬式野球部

宮石 康佑

私たち硬式野球部は、境原先生、井田先生、大隅昭彦先生、井上貴志先生の指導のもと、3年生22人、2年生17人、1年生12人の計51人で、高崎高校史上初の夏の甲子園出場に向けて日々の練習に取り組んでいます。

期待をされながら、昨秋は二回戦敗退、今春は一回戦敗退と悔しい思いをするとともに、大会という独特の雰囲気の中で自分たちの力を出し切り、勝利することの難しさを学びました。そのため、日々の練習や生活を見直し、大会を勝ち進むための人間力を身につけるにはどのように過ごすべきかを考えながら残りの期間を過ごし、冬の練習や日々の鍛錬の成果を発揮して夏の甲子園出場を決めたいと思います。

最後に、日頃支援してくださっている先生方やOBの方々への感謝を胸に、最高の恩返しができるよう頑張りますので、応援よろしくお願いします。



陸上競技部

大平 海史

私たち陸上競技部は、3年生9名、2年生13名、1年生14名の計36名で、顧問の新井先生と副顧問の工藤先生、北爪先生のご指導の下、活動しています。

今年度は例年以上に各部員の仲が良いので、とても良い雰囲気の中練習に励むことができています。また、今年度の目標は、より多くの選手が上位大会へ進むことです。もちろん、インターハイ出場、優勝も含まれます。この目標を達成するために意識すべきは、自分の動きを様々な角度から捉え、今の自分に足りないものは何なのかを考え、練習方法を見直すといったところです。これは学力向上のプロセスにも似た部分があり、文武両道の体現を成せる高高校に合致したものであると思います。

今後も目標へ向かい努力を続ける所存ですので、応援よろしくお願いします。

表野登記測量事務所

土地・建物の登記・測量・開発申請・相続・各種許可申請

土地家屋調査士 表野 真弘 (ラグビー部・83期)

高崎市小八木町1416番地1

TEL.027-370-1286 FAX.027-370-1287

E-mail hyono.m@aria.ocn.ne.jp



衣料一筋一世紀
本店 HONTAKA

社長 高橋哲人 ラグビー部 (89期)

(株) タカハシ本店 群馬県高崎市鞆町49

☎ 027-323-4821 FAX 027-326-3533

ホームページ <http://www.hontaka.biz/>
本タカブログ http://blogs.yahoo.co.jp/hontaka_web

靴のことなら トリオ

専務 吉村 祐二 (ラグビー部・101期)

株式会社トリオ 群馬県高崎市若松町92

TEL.027-322-4192

**山岳部**

東海林 亮平

山岳部は、顧問の井上先生、國富先生、須藤先生の御指導のもと、3年生7人、2年生5人、1年生12人の計24人で活動しています。

山岳部の総体の競技方式は運動部の中ではめずらしく、体力や技術力の他に知力や生活力も審査基準になっています。とはいえ、準備が大切なのは他の部活と変わりなく、質と量を確保し、効率よく練習に取り組めるよう考えていきたいと思っています。また、山を楽しむという本来の目的も忘れずに活動していきたいです。

山岳部の活動は他の競技と比べ、危険を伴う面が多いため先生方や保護者の方々に依存してしまう面が多くなってしまいます。またOB会の方々には備品をいただいています。そのような方々に感謝し、今年も山頂を目指したいです。

**バスケットボール部**

武井 智紀

私たちバスケットボール部は、渡部先生のご指導の下、3年生11名、2年生8名、1年生11名の計30名で日々練習をしています。

今年度の私たちの目標は県大会上位入賞、全国大会出場です。県新人大会は、ベスト16という結果になってしまったので、その悔しさをバネに、次は絶対に勝ちにいきたいと思います。そのためにはやはり、少ない練習時間でいかに質の良い練習をできるかにかかっていると思います。部員全員が言いたいことを言い合うことで、より良い練習を作り上げていきたいと思っています。

最後に、日々指導して下さる渡部先生や応援してくれる保護者の方々、OBの方々への感謝を忘れず、大会に向けて精進していきます。これからも応援よろしくお願いします。

**應援部**

根岸 歩夢

我々、群馬県立高崎高等学校應援部は創部以来陸捨漆代を数え、日々母校の発展の糧と成る為、尽力して参りました。

変わりゆく時代の中で、古きものはだんだんと寂れるもの。そう私が理解していても、やはり、應援部の人数減少による衰退はここ近年特に目立って居ります。時代と逆行しているかのように見える我々ですが、その活動の旨たるものは、高崎高校の伝統を守ることだと自負して居ります。

高崎高校と開くと「バンカラ」という言葉を想像する方も多いのではないのでしょうか。この高崎の「バンカラ」なイメージを保っていくことも我々の使命の一つだと愚考して居ります。

結びに駄文では御座いますが、高崎高校、そして皆様方の更なる発展を祈念させて頂き御挨拶と致します。これからも部員一同、精進して参りますので宜しくお願い致します。押忍。

**テニス部**

勝沼 英也

私たちテニス部は顧問の反町先生、副顧問の鈴木先生、中川先生の御指導のもと3年生17人、2年生4人、1年生10人の計31人で活動しています。団体ベスト4以上、個人では本戦出場を目標に日々練習しています。テニスはサーブから始まりストローク、ボレーなど多彩な種類のボールを満遍なく打つ必要がありどれか1つ欠けると苦しい試合展開になってしまいます。自分達の弱点を見極め、克服し、高生らしく頭を使って効率的な上達を目指しています。

最後に、日頃から部活を支えてくださる先生方、家族やOBの方々への感謝の気持ちを忘れずに目標に向かって努力して、身体的にも、精神的にも成長できるように頑張りますので応援よろしくお願いします。

**ソフトテニス部**

角谷 隆之介

私達ソフトテニス部は現在3年生9名、2年生11名、1年生10名の計30名で関東大会、インターハイ出場を目標に日々の練習に取り組んでいます。

県内の強豪校に比べると練習量では劣りますが、各自が高い意識を保ち、高らしいプレーを追求することで勝利を目指しています。高校総体では昨年度出場することの出来なかった関東大会へ、団体戦での出場、個人戦でも1ペアでも多くが出場できることを目指し、インターハイ予選へとつながられるような結果を残せるように頑張ります。

最後に、先生方やOBの方々、保護者の方々の支えでソフトテニスを出来るという環境への感謝を忘れずに全力で戦い抜いていきますので、応援よろしくお願いします。

**軟式野球部**

大手 颯人

私達軟式野球部は、3年生5名、2年生17名、1年生6名の計28名で活動しています。昨年度は秋季県大会で準優勝し、進んだ関東大会でも一勝を上げることができました。

ただ、その一方で打力の弱さから、ピッチャー頼みになってしまいう試合も多く、実力の拮抗した県大会を再度勝ち上がるために、サインプレーの確実さはもとより、個々の出塁率向上が大きなカギとなります。それらの点において、関東大会という大舞台を経験できたことは部員一人一人にとって良い刺激となり、部内での競争が活発になったことで、部全体でレベルアップすることができました。

結びに、日頃指導して下さる先生方、応援して下さる保護者やOBの方々への感謝を忘れることなく、一戦一戦戦い抜きます。今後も応援よろしくお願いします。

RASE ライズ総合保険

MS&AD あいおいニッセイ同和損保 総代理店

TOUGH SHOP ぐんま中央

代表取締役 富田 和弘 (応援部 85期)

武山 雄海 (バレー部 102期)

〒370-0044 高崎市岩坪町25-18 TEL 027-322-2364



GSD ホームページ、WEB システムの作成はお任せください。

株式会社ジー・エス・ディー

専務取締役 佐藤 英樹 (応援部 92期)

〒370-0058 高崎市九蔵町 25-1 WESTIN I 503 号

TEL:027-323-3880 FAX:027-310-2667

URL: http://www.g-s-d.net mail: h_sato@g-s-d.net

でてこい。実業のリーダーたち。

四谷大塚 NET

CEBU流半

適塾

www.tekijuku.info 塾長 櫻井 健一 (応援部 87期)

**剣道部**

波瀾 光希

私達剣道部は、3年生8名、2年生2名、1年生8名の計18名で、顧問の木村先生、國富先生に加え、藤木先生を始めとしたOBの方々のご指導の下、日々稽古に励んでいます。

関東大会出場という目標を達成するため、日々の稽古において、限られた時間内でいかに集中し、部員一人一人が技の練習の目的を理解した上で自分なりに工夫しながら稽古をしていくことが重要になっています。そのために、部員同士で意見を共有し合い、高い意識を持ちながら練習を行っています。また、「正しく、強い剣道」を目指し、どの大会においても悔いの残らないように全力を尽くして試合に臨みたいと思っています。

最後に、先生方やOBの方々、保護者の方々への感謝を忘れず、全力で戦い抜きたいと思います。応援よろしくお願い致します。

**ラグビー部**

相澤 徹平

私達ラグビー部は、3年生1名、2年生11名、1年生5名の計17名で、皿山先生、川田先生、反町先生のご指導の下、関東・全国大会出場を目指して活動しています。

チームの目標は、勉強とラグビーと自分に個人個人が真剣に向き合い、強く戦える集団になるということです。

グラウンドの雰囲気は、上下関係が殆ど無くラグビーという共通項、漢を磨くという共通項を持った人間が、互いの向上の為に切磋琢磨し、練習に励んでいます。やるのは他の誰でもなく自分です。現役最後の花園予選まで、そしてその先でも、全力でやりきる精神を持って、鍛錬を重ねています。

最後に、先生方やOB会の方々への感謝を常に持ち、戦い続けたいと思います。今後よろしくお願い致します。

**サッカー部**

市川 慶人

私たちサッカー部は、顧問の吉田先生、副顧問の徳光先生、渡辺先生の御指導の下、3年生22人、2年生22人、1年生21人の計65人で全国・関東大会出場を目標とし、日々練習に取り組んでいます。

です。

サッカー部では文武両道を掲げており、限られた時間の中で目標を達成するために、部員一人一人が自身の課題、チームの課題について考え自主的に練習に取り組んでいます。

今年こそは総体での関東大会出場、インターハイでの全国大会出場を果たせるよう、全力を尽くして戦います。サッカー部を支えて下さる方々への感謝を忘れず目標に向かって努力していきますので、今後とも高崎高校サッカー部への御支援のほど、よろしくお願い致します。

**空手道部**

御供 大剛龍

私たち空手道部は、二年生二名、一年生二名の計四名で練習に励んでいます。昨年は三年生一人と私とで活動して秋季からは未熟ながらも一年部長として大会に出場しました。

今年度の目標は二つあります。まず一つ目は十月十九日から二十日にかけて行われる県高校新人大会の種目の一つである団体組手において、全員が持てる力の全てを出して勝利することです。二つ目は個人の習熟度に応じて、より高度な形、より高度な組手の技術を習得して、年四回行われる昇級昇段審査に合格することです。これについては部活動引退までに全員が初段以上の段位を取れるように努めます。

結びになりますが高崎高校空手道部の伝統を受け継ぐことに感謝して、練習に打ち込むことを約束します。

**バレーボール部**

澤入 真那斗

私たちバレーボール部は顧問の柴山先生、林先生、剣持先生のご指導のもと、3年生3名、2年生11名、1年生8名の計22名でインターハイに出場し、一つでも多く勝つことを目標に日々練習に励んでいます。

です。

昨年では、目標であったインターハイ出場にあと一步及ばず、悔しい結果に終わってしまいました。なので、今年こそは目標を達成すべく、部員一人一人が真剣に高い意識をもってバレーボールに向かっています。県内でも身長が高いとは言えない中でいかに自分たちのしたいバレーボールを作れるかを考え、粘り強いチームになろうと思います。

最後に、日頃から支えてくださる先生方やOBの方々、また保護者の方々への感謝の気持ちを忘れず強くなりますので応援宜しくお願い致します。

**スキー・スケート部**

堀越 奨平

スキー・スケート部は、顧問の井上貴志先生、須藤先生のもと、3年生1名、2年生1名で活動しています。今年度の目標は、部員それぞれが日々の鍛錬を積み、日々少しずつ前進していくことです。まだまだ部員が少なく厳しい状況ではありますが、高

高の名に恥じぬよう努力していく所存であります。

また、高の素晴らしい伝統を次の世代、その次の世代へと受け継ぐために、翠巒祭や定期戦に主体的に参加し、微力ながらも高のさらなる発展に尽力していきます。

大会のある1月・2月は、次年度でのさらなる飛躍のために一層勉強に励む時期なので、不安な点も多々ありますが、スキー・スケート部OB会をはじめとする、私たちを応援して下さる方々への感謝を忘れず、部のさらなる発展へ貢献していきます。今後ともよろしくお願い致します。

目指せ! 全国制覇 **チャレンジ** **高崎高校ソフトテニス部**
ソフトテニス部OB会 会長 丸山 博(68期)

平成30年度運動部活動状況

硬式野球部

全国高等学校野球選手権群馬大会

1回戦 11-1 尾 瀬

2回戦 1-8 健大高

秋季西毛リーグ

予選 14-0 高 北

11-1 高 東

0-9 藤中央

13-1 藤 工

4-0 高経附

秋季関東地区高等学校野球大会群馬県予選

1回戦 9-0 高 工

2回戦 3-8 桐 一

春季西毛リーグ

予選 10-2 富 岡

5-1 高経附

3-4 農 二

14-0 高 北

春季関東地区高等学校野球大会群馬県予選

1回戦 2-5 清 明

バレーボール部

インターハイ予選

3回戦 2-0 高 北

準々決 2-0 伊 商

準決勝 2-1 伊勢崎

決 勝 1-2 前 商

準優勝

西毛地区大会

2回戦 2-0 藤 工

準決勝 2-0 高 工

決 勝 0-2 県 央

準優勝

全日本バレーボール高等学校選手権大会県予選

3回戦 2-0 高経附

準々決 2-0 渋 工

準決勝 0-2 桐 商

第3位

新人大会

3回戦 2-0 農 二

準々決 1-2 県 央

ベスト8

空手道部

1・2年生大会

個人組手(重量級) 御供大剛龍 第5位

新人大会

個人組手(重量級) 御供大剛龍 第5位

水泳部

群馬県高校総体

100m自 金 直輝 2位

200m個メ 金 直輝 2位

100m背 三浦玲央 1位

200m背 三浦玲央 1位

100m平 斎藤 翼 4位

400m R 3位

400mメ R 3位

総合4位

関東高校水泳競技大会

100m背 三浦玲央 2位

200m背 三浦玲央 5位

400m R 三浦、金、井尻、渡辺 予組4位

400mメ R 三浦、金、井尻、渡辺 予組4位

日本高校水泳競技大会(インターハイ)

100m背 三浦玲央 3位

200m背 三浦玲央 6位

新人大会

50m自 野口直央 1位

100m自 野口直央 1位

50m平 斎藤 翼 1位

100m平 斎藤 翼 1位

200m R 2位

200mメ R 2位

第73回国民体育大会水泳競技大会

200m背 三浦玲央 7位

100mバ 金 直輝 予組8位

柔道部

関東大会

《柔道競技》

団体トーナメント1回戦

1-2 水戸工(茨城)

《相撲競技》

団体 予選リーグ 3-2 安房(千葉)

1-4 慶應(神奈川)

3-2 明大中野(東京)

団体 決勝トーナメント1回戦

0-5 東洋大牛久(茨城) ベスト16

個人 軽量級 和田智輝 第3位

” 福田光治 第3位

インターハイ予選

団体 2回戦 4-0 樹 徳

準々決 0-2 桐 一 ベスト8

個人 60kg級 和田智輝 ベスト8

100kg級 湯本祥伍 第3位

100kg超級 稲村幸則 第3位

一橋大学有備館杯柔道大会

団体 予選リーグ 3-2 都立駒場(東京)

5-0 開智(埼玉)

準決勝 4-0 桐光(神奈川)

決 勝 3-0 千葉(千葉) 優勝

群馬県強化選手選考会

個人 73kg級 福田光治 第4位

100kg級 角田壮琉 優勝

100kg超級 見友詞勝 第4位

100kg超級 稲村幸則 第4位

新人大会

《柔道競技》

団体 1回戦 4-1 渋 川

2回戦 2-1 育 英

準決勝 0-4 常 磐

3位決 0-1 桐 一 第4位

《相撲競技》

団体 予選リーグ 2-1 太 工

3-0 青 翠 優勝

個人 軽量級 福田光治 優勝

” 池田陽大 第3位

重量級 オゾエメナイケナ大樹 優勝

無差別級 見友詞勝 優勝

角田壮琉 第3位

稲村幸則 第3位

全国選手権予選

団体 2回戦 ○-× 樹 徳(4人残)

3回戦 ×-○ 育 英(2人残) ベスト8

個人 81kg級 オゾエメナイケナ大樹 ベスト8

東北大学青葉杯柔道大会

団体 予選リーグ ×-× 山形南(山形)

○-× 会津(福島)5人残

○-× 仙台三(宮城)4人残

○-× 川越(埼玉)5人残

決勝トーナメント1回戦

○-× 気仙沼(宮城)4人残

決勝 ○-× 千葉(千葉)2人残 優勝

慶應大学杯争奪柔道大会

個人 81kg級 福田光治 ベスト8

東京大学七徳杯高校招待柔道大会

団体 予選リーグ 5-0 麻布(東京)

5-0 浜松北(静岡)

団体決勝トーナメント

1回戦 5-0 逗子開成(神奈川)

準決勝 3-0 千葉(千葉)

決 勝 4-0 浦和(埼玉) 優勝

ソフトテニス部

群馬県高等学校ソフトテニス選手権大会

団体 0-2 健大高 ベスト8

群馬県高等学校夏季ソフトテニス大会

団体 0-2 高 商 ベスト8

個人 シングルス 大澤 ベスト4

百澤 ベスト8

須藤 ベスト16

群馬県高等学校新人ソフトテニス大会

団体 第4位

個人 ダブルス 須藤・角谷ペア 第3位

大澤・百澤ペア 第3位

ゴーセン杯争奪ハイスchoolジャパンカップ

ソフトテニス2019群馬県代表選考会

個人 シングルス 須藤 ベスト8

ダブルス 大澤・百澤ペア ベスト16

ラグビー部

1年生大会

2回戦 0-67 県 央

群馬県選手権大会(全国大会県予選)

1回戦 45-10 渋 工

2回戦 19-14 樹 徳

準々決 0-94 桐 一 ベスト8

新人大会(高崎・高商合同チーム)

1回戦 43-19 合同D

(関学・興陽・伊勢崎・桐生)

準々決 0-91 県 央 ベスト8

軟式野球部

全国選手権北関東県予選

1回戦 8-1 桐 生(8回コールド)

2回戦 1-6 高 工

秋季関東県予選

1回戦 4-2 桐 生

2回戦 7-0 高 工(7回コールド)

準決勝 1-0 館 林

決 勝 3-13 高 商

第59回秋季関東地区高等学校軟式野球大会(神奈川)

1回戦 2-0 八千代松陰(千葉A)

2回戦 5-6 早稲田実業(東京C)

剣道部

インターハイ予選

団体 1回戦 4-1 富 実

2回戦 1-3 常 磐

県選手権大会

団体 1回戦 2-1 前 南

2回戦 0-2 県 央 ベスト16

新人大会

団体 1回戦 4-0 青 翠

2回戦 0-3 沼 田 ベスト16

山岳部

第49回新人登山大会

個人 重谷鳳凰 第10位

第62回関東高等学校登山大会(茨城県・奥久慈山域) 出場

陸上競技部

関東高等学校陸上競技大会

400m 植木辰乃介 予組5位

3000mSC 井上湧斗 予組11位

5000mW 女部田亘佑 決失格

4×400mR 田巻、植西、植木、渡邊 予組6位

走高跳 大平海史 決優勝

群馬県陸上競技選手権大会

1500m 中林 俊 決9位

4×400mR 唐澤、田巻、植西、植木 決5位

走高跳 大平海史 決7位

関東陸上競技選手権大会(茨城)

4×400mR 植西、田巻、植木、渡邊 予組6位

インターハイ

走高跳 大平海史 決5位

県高校学校対抗

400m 田巻月雅 決4位

” 植木辰乃介 決7位

800m 植西柳太 決4位

800m	長谷川匠	決7位
5000m	小坂橋龍正	決7位
5000mW	廣岡 亮	決7位
4×400mR	櫻田、上原、植木、田巻	決6位
4×400mR	田巻、渡邊、植木、上原	決3位
走高跳	大平海史	決1位
砲丸投	関 祐希	決5位
男子総合成績(一部校12校中) 第7位		

県高校新人		
800m	渡辺喬介	決5位
1500m	渡辺喬介	決4位
〃	長谷川匠	決7位
110mH	松尾亮佑	決5位
3000mSC	中林 俊	決3位
走高跳	大平海史	決1位

関東高校選抜新人(山梨)		
3000mSC	中林 俊	予組11位
U18日本陸上競技選手権大会(愛知)		
走高跳	大平海史	決4位
県高校駅伝	総合成績	第11位
県高校新人駅伝	総合成績	第7位

サッカー部

インターハイ予選		
2回戦	17-0 板 倉	
3回戦	2-0 桐 南	
準々決	2-3 高 商	ベスト16
高校サッカー選手権大会県予選	決勝トーナメント	
1回戦	4-0 高 北	
2回戦	0-1 伊 商	ベスト16
新人大会		
1回戦	10-1 玉 村	
2回戦	8-0 四つ葉	
3回戦	0-0 前 商(PK1-4)	ベスト16

卓球部

インターハイ予選		
団体	1回戦 3-0 万 場	
	2回戦 0-3 伊 商	
新人大会		
団体	1回戦 3-0 安総合	
	2回戦 1-3 桐 生	

バドミントン部

インターハイ予選		
団体	2回戦 1-3 中央中等	
個人	ダブルス	ベスト16
新人大会		
団体	1回戦 2-3 太 田	
個人	シングルス	ベスト16

バスケットボール部

インターハイ予選		
1回戦	134- 49 桐 南	
2回戦	113- 50 館商工	
3回戦	83- 70 前 工	
準々決	59- 90 前 商	ベスト 8
全国選手権県予選		
4回戦	83- 67 勢 農	
準々決	67-100 前 商	ベスト 8
西毛地区新人大会		
2回戦	90- 62 農 二	
3回戦	110- 84 富 岡	
準決勝	84- 74 商大附	
決 勝	83- 85 新 島	第2位

新人大会
4回戦 58- 70 市太田

テニス部

インターハイ予選		
団体		ベスト16
新人大会		
団体		ベスト16
個人	ダブルス 王・丸橋	ベスト 8
	勝沼・清水	ベスト16

スキー・スケート部

SL・GS 堀越奨平 関東大会出場

弓道部

インターハイ予選		
団体		第4位
個人		優勝
インターハイ		
個人		決勝進出
国体関東ブロック		
団体		第4位
西毛地区大会		
団体		第2位、第3位
個人		第1位、第3位

第54回高校総体 (令和元年) 男子総合5位

バレーボール部

3回戦	2-0 高経附	
準々決	0-2 伊勢崎	ベスト 8

ソフトテニス部

団体	1回戦 1-2 高 工	
個人	ダブルス 大澤・百澤ペア	ベスト16
	(関東大会出場)	

バドミントン部

団体	1回戦 2-1 桐 工	
	2回戦 1-2 桐 商	ベスト16

サッカー部

1回戦	7-1 前 南	
2回戦	3-0 高 工	
3回戦	0-1 健大高	ベスト16

バスケットボール部

1回戦	82-53 太 工	
2回戦	77-57 G K A	
3回戦	89-70 樹 徳	
準々決	59-86 前 商	ベスト 8

山岳部

第6位
(関東大会出場)

空手道部

団体組手2回戦 0-5 商大附

剣道部

1回戦	2-2 高 商(本数勝ち)	
2回戦	2-1 館 林	
3回戦	3-0 樹 徳	
準々決	0-5 沼 田	ベスト 8

弓道部

団体	予選 24射15中	
	決勝 24射10中	第10位
個人	2名 08射07中	
	5位決定戦に進むも入賞ならず	

テニス部

団体	1回戦 3-0 桐 工	
	2回戦 2-1 中央中等	
	3回戦 0-2 太 田	ベスト16

軟式野球部

2回戦	5-0 桐 工	
準決勝	4-2 桐 生	
決 勝	8-3 高 商	優勝
	(関東大会出場)	

卓球部

団体	1回戦 3-1 前 西	
	2回戦 0-3 桐 生	

ラグビー部

1回戦	29-12 育 英	
準々決	10-90 桐 一	ベスト 8

柔道部

《柔道競技》		
団体	2回戦 3-1 富 岡	
	準々決 1-2 育 英	
	5・8位決戦 1-2 勢 農	
	9・10位決戦 4-1 太 田	
	9・10位決戦 3-2 太 工	第9位
	(関東大会出場)	
個人	茂木大和	ベスト16

《相撲競技》

団体5校リーグ	5-0 青 翠	
	4-1 太 工	
	4-1 樹 徳	
	4-1 沼 田	優勝
	(関東大会出場)	
個人	角田壮琉	準優勝
	見友詞勝	ベスト 8
	福田光治	ベスト 8
	(6階級10名が関東大会出場)	

陸上競技部

100m	井上直紀	第5位
800m	長谷川匠	第4位
3000mSC	中林 俊	第4位
4×100mR	桑原拓巳、黒木瞭太	
	唐澤祐伍、井上直紀	第6位
走高跳	大平海史	第2位
	(上記種目で関東大会出場)	
男子総合成績		第10位

目指せ!
極限の自己を!!

高崎高校 陸上競技部OB会 会長 甲斐 俊輔 (87期)

陸上競技部OB会ホームページ
<http://sports.geocities.jp/takatakarikujouob/index.html>

翠巖体育会役員名簿

(令和元. 6. 20)

役職	氏名	期	運動部名
会長	大田 功	85	ラグビー
副会長	田口 恵一	74	ソフトテニス
〃	山岸 祐二	79	水泳
〃	清水 威	85	硬式野球
〃	橋爪 洋介	85	卓球
〃	仲澤 賢一	86	バスケットボール
〃	滝野 修司	86	剣道
〃	甲斐 俊輔	87	陸上競技
〃	根岸 強	87	サッカー
〃(会計編集委員)	吉井 章一	78	山岳
〃(編集局長)	志田 登	82	柔道
〃(編集委員)	北村 真行	85	テニス
〃(事務局)	櫻井 健一	87	応援
〃(事務局)	坂本 弘	87	バレーボール
〃(事務局)	井野 周平	91	ラグビー
〃(事務局)	横田 裕正	92	スキー・スケート
監査	波多野重雄	77	陸上競技
〃	波瀾 憲昭	81	バレーボール
顧問	國峯善次郎	50	サッカー
〃	岩田 武雄	53	バスケットボール
〃	山口 正敏	58	卓球
〃	高橋 浩生	78	バレーボール
理事(情報部長)	堤 康高	71	卓球
〃(会計)	清水 元	91	硬式野球
理事	原 到	78	バレーボール
〃	高橋 孝史	97	〃
〃	塚越 英男	91	剣道

役職	氏名	期	運動部名
理事	萩原 克明	93	剣道
〃	鳥居 吉二	73	柔道
〃	石橋 修	90	陸上競技
〃	足立 晋	96	〃
〃	中山 拓紀	102	〃
〃	今村 孝之	80	ラグビー
〃	黒石 康暢	81	〃
〃	表野 真弘	83	〃
〃	黒田 和宏	99	〃
〃	永尾 俊弘	70	水泳
〃	斉藤 全賢	75	〃
〃	伊藤 祐司	75	〃
〃	須藤 聡	78	〃
〃	羽鳥 広平	104	卓球
〃	高橋 秀仁	107	〃
〃	木村 芳之	72	ソフトテニス
〃	石田 和久	75	〃
〃	浦野 克彦	78	〃
〃	富田 和弘	85	応援
〃	佐藤 英樹	92	〃
〃	武藤 靖秀	106	〃
〃	遠山 昇	79	サッカー
〃	安藤 英彦	86	〃
〃	佐藤 雄一	97	〃
〃	高山 雄介	100	〃
〃	小林 均	77	硬式野球
〃	堀込 貴	84	〃

役職	氏名	期	運動部名
理事	赤澤 正喜	84	硬式野球
〃	北嶋 聡二	87	バスケットボール
〃	鈴木 徹也	88	〃
〃	小澤 朋克	99	〃
〃	児島健太郎	100	〃
〃	松本 基志	77	山岳
〃	須川 光一	79	〃
〃	齋藤 英敏	83	テニス
〃	長谷川泰三	83	〃
〃	松本 潔志	85	〃
〃	神保 裕之	83	スキー・スケート
〃	佐藤 雄一	86	〃
〃	沼野 藤雅	89	〃
理事(編集委員)	茂原 賢三	89	陸上競技
〃	伊藤俊一郎	92	柔道
〃	武山 雄海	102	バレーボール
〃	小林 優介	103	ソフトテニス
編集委員	提箸 宏	74	サッカー
〃	新藤 洋一	81	水泳
〃	藤井 正弘	81	応援
〃	芳賀 弘幸	81	ラグビー
〃	戸澤 健	92	硬式野球
〃	寺澤 佑介	95	スキー・スケート
〃	角岡 大悟	96	剣道
〃	塚本 浩史	99	バスケットボール
〃	宮原文太郎	111	卓球
事務局長	境原 尚樹	81	硬式野球
事務局	反町 豊	99	ラグビー

学校側顧問

校務運動部	長頭部長	加藤田中浅岡新井	聡幸雄守康司
硬式野球	球一技泳岳援	境原皿山吉田新井山田井上竹内菊池反町井上渡部柴山長谷川木村田中東宮遠山田島市川	尚樹・井田倫義・川田卓弥・徳光康司・工藤敏行・渡辺貴智・岡田聡・徳光豊・鈴木貴志・須藤健一郎・江原俊広・林忠史・須田拓哉・國富利明・大隅英文・森戸聡・池永悦男・大久保高幸・星野郁浩・大隅智広・反町尚之・渡辺洋平・北爪彰・中嶋充敏・須藤一郎・西村尚之・田中幸英・中川毅悠一孝彦・一場響二・中島充敏直樹麻子真孝泰希・藤生貴紀昭彦・井上豊彰紀枝英彦毅淳也みゆき浩之尚子康彦揚亮



OB会長名簿

OB会名	会長氏名	期
ソフトテニス部OB会	丸山 博	68
剣道部OB会	藤木 正行	69
柔道部OB会	鳥居 吉二	73
サッカー部OB会	清野 哲雄	74
硬式野球部OB会	清水 正郎	75
山岳部OB会	松本 基志	77
水泳部OB会	島崎 秀明	77
バレーボール部OB会	原 到	78
ラグビー部OB会	黒石 康暢	81
テニス部OB会	林 正和	81
スキー・スケート部OB会	神保 裕之	83
応援部OB会	富田 和弘	85
卓球部OB会	橋爪 洋介	85
バスケットボール部OB会	仲澤 賢一	86
陸上競技部OB会	甲斐 俊輔	87

◎ [新藤・水泳部・81期]

◎ 編集に携わるのもこれで3回目。前任者からの引き継ぎもなく、この組織や会報の存在すら知りませんでした。年に1回の編集なので、この歳になると翌年にはすっかり忘れており、3回目です。ようやく編集の流れや組織の運営が見えてくるようになりました。

◎ 地元高崎に戻ってきて20数年になりますが、このようなOB会の活動に関わることで、地域の卒業生の姿が見えてきました。毎年最初の編集会議で頂く「もぎたて完熟屋」の無添加のお弁

当。91期原君(テニス部)の店だったのですね。他の弁当に比べてひと味もふた味も違います。今年はこの弁当を着に、91期野球部高井君の酒「巖」を頂きました。彼は今すぐノッていて、素晴らしい酒をどんどん送り出しています。今年の新酒はすごかった。来年も期待していますよ。

◎ ちょうど今、税金の相談で、高橋浩生税理士事務所(78期バレーボール)の白井税理士(89期水泳部)にお世話になってます。まだまだ楽しい出会いが潜んでいるような気がします。



卓球部

関根 史比古
(112期)

卓球部OB会では例年、夏休み中と年明けに現役生とOBとの交流試合を行っており、試合後には懇親会や新年会を開催し、OB同士の交友関係を深めています。

私が現役だった頃は全くOBに勝てないことから苦い記憶のあるOBとの交流試合でしたが、近年は現役生が勝つことも多く、OBとしてうれしく思います。また、現役生は試合後のOBからのアドバイスを真剣に聞いており、向上心を感じました。

懇親会でも現役生に関する話題が増えたように感じます。酒を酌み交わしつつ、「あの現役生になぜ負けたのか」について語りあっているOBもいて、その姿からは悔しさとともに嬉しさを感じ取ることができました。

話がやや脱線しますが、私がOB会に参加したきっかけは在学中の同期・先輩が参加しており、誘われたことからでした。知っている同窓生に会いたいと思いつつも、はっきり言って現役時代の私はそこまで強くなく、あまり気が乗りませんでした。そして、いざOB会に参加すると、やはり試合では現役生にほとんど勝てませんでした。しかし、OBの先輩方には暖かく迎えていただきました。以来数年に渡り、可能な限りOB会に参加しております。

私が現役生に技術的支援を行うことは難しいですが、比較的若い世代がOB会に参加することで活動が活発になり、現役生の助けになればと思いつつ参加しております。また、私自身もOB会に参加することで幅広い年代のOBと交流でき、楽しいひと時を共有することができました。

昨年度の会報で町田先輩も述べていることですが、普段からラケットを握っている人だけが参加するというわけではございません。OBの中で参加をためらっている方がいましたら、臆せず、まずは参加していただくことを願っております。

最後に、高崎高校卓球部の健闘と同OB会の発展を祈りまして、締めめの言葉とさせていただきます。



水泳部

新藤 洋一
(81期)

正式なOB会発足に向けて動き出す

これまで水泳部は、正式なOB会がない状態で翠巒体育会に参加してききました。

70期の永尾さんのご尽力で維持されていたようです。また、75期～80期あたりのメンバーが、当時の顧問だった丸山先生を囲んで交流をしていたそうです。なぜか我々81期には声がかからず途切れていました。それが数年前に誘われて新年会に参加するようになりました。その後編集委員を頼まれて今に至ります。

77期島崎さんのレポートにもあるように、翠巒体育会忘年会がきっかけで、OB会の立ち上げに向け動き出すことになりました。会報の3桁完全配布を目指します。また、来月号には、立ち上

げ総会の様子を中心に「青春の絆」で報告する予定です。

<その他>

8月1日は毎年恒例の現役生激励会。現役生9名、OB9名の参加で、OBが焼き肉をおごり、さらに激励金を渡しました。

新年会は1月5日に駅前の居酒屋で。15名の参加でした。



正式なOB会発足に向けて行われた準備会の会合



バスケットボール部

塚本 浩史
(99期)

日頃よりOB諸兄をはじめ、関係各位には大変お世話になっております。さて、毎年恒例となっている、現役とOBとのOB戦が元日に開催

されました。

恒例とはなっているものの、そこに集うOBは歳月を経るごとに若手のOBが増え、とても懐かしそうして頼もしさを感じます。そして、

製鋼原料・非鉄金属
産業廃棄物収集運搬・計量証明

上越鋼業株式会社

代表取締役社長 波瀾 憲昭 同窓会副会長
高崎市上豊岡町560-10 〒370-0871 (八幡第二工業団地)
TEL(027)343-1325(代) FAX(027)343-9569

高橋浩生税理士事務所

税理士 高橋 浩生 第4代翠巒体育会会長
バレーボール部(78期)
税理士 白井 浩一 水泳部(89期)
〒370-0072 高崎市大八木町3002番地10
TEL.027-363-6303 FAX.027-363-6302
http://www.kaikei-home.com/cpta_hiro-hp/

有限会社 北原タイヤ商会

各種タイヤ販売・卸・修理・各種ホイール販売

代表取締役 北原 幸一 バレーボール部OB(86期)

〒370-0043 高崎市高関町316-6

☎(027)323-5988 FAX(027)323-5858

このような機会の提供を続けることができるのは、顧問の渡部監督をはじめとする学校関係者、そして現役の父兄・ご家族の方々のご協力がいただけるからこそであり、改めて御礼申し上げます。

さて、平成30年度は現役支援として、支援金の贈呈を行いました。これまで開催されていた講演会や交流会などの企画を再考し、OBだからこそできる現役への支援を考え、新しい手法や現役にもたらされる効果などを鑑みて模索しております。

また、本年は交流戦に際して、OBの立見先輩による技術指導も実施しました。これまでも多くのOB諸兄がそれぞれの立場で現役の支援をいただいていることに、改めて感謝を申し上げます。本稿をご覧になっているOB諸兄のご意見やご助言を参考に、現役主体で支援できる方策を検討して参りますので、変わらぬご支援を賜りたく存じます。



翠巒体育会の会員の皆様には、日頃よりお世話になっています。高崎高校ラグビー部OB会は、現役生の応援のため様々な活動を行っています。

高崎高校ラグビー部OB会として、最も歴史の深い活動として、

毎年1月に行われるOB戦があります。「現役激励」の目的で、絶えることなく続いていて、今年も、たくさんの参加者が集まりました。試合観戦だけのOBはグラウンドで現役に檄をとばし、OB戦目的で集まってきた卒業したての若手から、年配のOBまでが、試合を通して、現役ラグビー部員にラグビーの厳しさ、楽しさを体を通して伝えました。

次に、大きな活動として、「高高ラグビー祭」があります。今回で12年目を迎えたこの行事は、前ラグビー部OB会長の内田さんが、様々な世代で楽しめるラグビーを広めるために始められたOB会行事です。今年は3月23日に行いました。高高ラグビー部OB会の行事ではありますが、高高ラグビー部関係者に関わらず、ラグビー好きが集まり、ラグビーを楽しむ、まさに「祭」です。現役も含め、参加者全員が楽しめるように試合を組み、その後、BBQ大会、ビンゴ大会、オークションを行います。オークションには、諸先



輩方や関係各位から多大な景品の寄付をいただき、例年のことながら大変盛り上がりました。現役保護者の作ってくれるトン汁も名物料理となってきました。毎年ありがとうございます。この行事の中で、卒業生を参加者に紹介する企画があります。若者の熱い思いを聞かせていただき、自分も高校生時代の熱い思いを懐かしく思い出すひとときでもありました。卒業生には、高高ラグビー部で3年間過ごしたことに誇りと自信を持ってほしいと思います。

さて、昨年の本会報で紹介させていただきましたが、今年度も、ラグビー部OB会主催で1年生にラグビーの授業を行いました。高崎高校の「校技」であり、年配のOBにとっては懐かしい冬のラグビーが復活できるよう、ラグビー部OB会は高高的ラグビー授業にも積極的に関わっていきたくと思っています。

そして、当然、高高ラグビー部がさらに発展してくれるよう、春の関東大会、夏の7人制ラグビー全国大会、冬の花園全国大会出場に向け、OB会は一層の支援を行っていきたくと思っています。



バレーボール部OBチームである翠巒クラブは、例年、全日本クラブカップ選手権群馬県予選会(5月)、天皇杯群馬県予選会(7月)に出場しております。昨年度はどちらの大会も1勝もできず、初戦敗退と悔しい結果に終わってしまいました。しかし12月に埼玉県で行われた並木杯では普段対戦することのない県外の強敵と対戦し、高いレベルのバレーを経験することができました。

毎週の練習では、経験豊富な30代のメンバーと20代のメンバーが互いに刺激しあい、活気のある雰囲気練習をしています。昨年度の悔しい思いをばねに、全国大会出場という目標に向けて引き続き積極的な活動を続けて参ります。

また、新年の恒例行事であるOB×現役の練習会及びOB新年会が平成31年1月3日に開催されました。今年の新年会も多数の若手が参加し、近況報告、息子のバンド宣伝、娘の婚約者探しなど、話題の絶えない賑わいのある会になりました。OB一同、バレーボール部顧問である柴山先生(103期)と協力し合い、今後も現役生の支援を続けていくとともに、OB会の活躍の場を拡げ



カーエレクトロニクス グッズ&サービス
群馬電装株式会社
本部・サービス部：高崎市江木町117
TEL.027-323-3622 FAX.027-327-6627
<http://www.gunmadenso.co.jp/>
代表取締役社長 川口 昌啓(剣道部74期)

群馬トヨペット株式会社
前橋市石倉町 2-6-5
TEL 027-251-5111(代) FAX 027-252-1251
代表取締役社長 大山 駿作(剣道部71期)

金井勉社会保険労務士オフィス
社会保険労務士 **金井 勉**
(剣道部 66期)
〒216-0031 川崎市宮前区神木本町2-9-1
TEL.044-948-6591
E-mail kanai7@world.ocn.ne.jp



ていく所存です。



テニス部

北村 真行
(85期)

高高テニス部は昭和53年に、現在プールとなっている場所にかつて存在した「吉野コート」を練習場とし「硬式テニス同好会」として産声をあげました。以来、同56年の部昇格を経て、幾度となくのインターハイ出場という歴史を刻みながら、昨年創立40周年の節目を迎えることとなりました。

これを記念して、平成最後の正月である1月2日(水)、グランビュー高崎にて創立40周年記念総会及び記念祝賀会を開催しました。林OB会会長(81期)をはじめとし、初の総体団体戦優勝メンバーでありのちにプロとして活躍された板橋マリオ君(94期)、歴代顧問の塚越先生(73期)、吉澤先生、岡田先生(86期)にも御出席いただき、40数名出席の盛大な会となりました。

同世代では懐かしい顔との再会、異世代間でも顧問の先生を挟んでの楽しい歓談がありと、あっという間の2時間でした。その賑わいのまま二次会へと突入したことは言うまでもありません。これを機会とし、OBの縦の繋がりをさらに充溢させ、引き続き50周年記念事業の開催を目指し、また今回御参加いただいた100期以下の若い世代にこの会を引き継いでいただけるようさらに盛り上げていきたいと思ひます。

最後に、OB会の発足時にご尽力いただいた塚越先生、40周年記念の実現にあたりお力添えいただいたOB諸兄に改めて感謝申し上げます。



硬式野球部

戸澤 健
(92期)

我々硬式野球部OB会の活動は、主に三つです。40歳以上のOBで構成される「翠巒クラブ壮年」、50歳以上のOBで構成される「翠巒クラブ熟年」、そして年齢不問であり全てのOBが参加できる「群馬県高校野球OB大会」への出場です。

「翠巒クラブ(壮年)」は創部10年を迎えようとしています。今迄も度々県大会に出場し、高校野球のOBによる単独チームとして県内で注目を集める存在です。また「翠巒クラブ(熟年)」は、言うなれば「壮年」のOBチームです。こちらも県大会の常連チームになりつつあります。

「群馬県高校野球OB大会」はいわゆるマスターズ甲子園と言われている大会の群馬県予選です。2013年から始まり今年で7回目。タカタカOB会は第一回から参加しています。

年々参加者が増え、今年の5月5日の初戦は73期卒の先輩から現役大学生まで40名近いOBが参加しました。試合も勝利し2回戦に進出。全国大会を目指し、OB一体となって青春しています。因みに全国大会の組み合わせはすでに決定しており、今年の群馬代表は大阪代表との対戦です。話題のPL学園と対戦できるかもしれません。

こんなに楽しいOB会活動ができるのもタカタカ野球部があったからこそです。現役の後輩たちも、勉強としっかりと両立をして頑張ってもらいたいと思ひます。



柔道部

伊藤 俊一郎
(92期)

柔道部OB会の活動としては、本年も1月3日に高崎高校の柔道場にて現役・OBにて行われる初稽古、及び会場を移動しての新年会を行いました。

初稽古については、現役・OBやその子どもたちを合わせ30人が参加し、保護者等の見学を加え、40人以上が集まった中で行われました。稽古内容は、寝技・立ち技の打ち込み・乱取りを行い、恒例の現役・OBの対抗戦を行いました。対抗戦の一部では初稽古に参加したOBの子どもたちも現役側で試合に出場し、中には親子試合となるなど、柔道を通じて私たちが長く繋がっていることを象徴するシーンもありました。

新年会については、グランビュー高崎にて、32名の参加にて

御宴会、慶弔のお席、同窓会、PTA、
趣味のお集まり等に...

創 魚 件

取締役社長 羽鳥 修司 (卓球部・63期)
高崎市九蔵町17 TEL 027-322-2428
FAX 027-326-7070



株式会社
システムハウス

代表取締役 堤 康高 (卓球部71期)

群馬県高崎市栄町15-9 きむらビルⅡ4-B
TEL 027-327-8451 FAX 027-327-8480
URL <http://www.sysh.jp/>



株式会社
大陸不動産

代表取締役 山口 正敏

(卓球部・58期)

高崎市宮元町108番地 TEL 027-322-4031

大変和やかに行われました。高崎高校柔道部OB会 鳥居吉二会長(73期)のあいさつがあり、また監督の田中利明先生からは、2018年11月に行われた第66回群馬県高等学校新人柔道大会準々決勝で前橋育英高校に勝利したことや、2019年3月16日、17日に高知県で行われる全国高校相撲選抜大会に、現役柔道部のメンバーで団体・個人戦に出場することが報告されました。

今年度はこれに加え、角田裕祐さん(112期)が、社会人として3月3日に行われる関東柔道選手権大会に出場することが決まり、2月8日に壮行会を行いました。



剣道部

瀧野 修司
(86期)

剣道部のOB会として例年行っている活動の第一は、現役の高校剣道部の援助です。夏・春の合宿の際には、十分な額ではありませんが合宿援助を行い、それと共に、高段者や大学生らOBによる稽古会を催すことで、現役高校生の技量の向上を図っています。稽古会は夏・春の合宿の夜と正月3日の午後に行い、今年の新年稽古には元顧問の別府重龍先生、渡辺正一先生を初め、大学生も含めた38名のOBが剣を交え、現役部員に指導しながら、OB同士の互角稽古によって交流を深めました。

OBの中には、県内外の剣道界で活躍されている先輩が何人もおり、お互いの近況報告や昇段審査の情報なども稽古会で交わされます。今年の4月からは、藤木正行先輩(69期)が群馬県剣道連盟高崎支部の支部長に就任しました。藤木先輩は、11月に和歌山県で行われるねりんピックにも群馬県代表の一人として参加します。



て参加します。

高校剣道部の顧問も、有段者である木村先生と國富先生の二人体制となり、熱心に指導していただいています。今後もOB会が高崎高校剣道部の活動を全面的に支援し、一層もり立てて行きたいと考えています。



山岳部

吉井 章一
(78期)

平成30年7月7日、3年ぶりの総会が37名の参加の下、ホテルメトロポリタンにて開催されました。過去3年間の活動報告並びに今後の活動計画が参加者全員の賛成により承認可決されました。

総会で披露されたのは現役生とOB会の交流についてでした。登山用品の寄付、夏合宿への差し入れ、そして合同山行などが行われており、今後も積極的に交流することで参加者から賛同をいただきました。

引き続き懇親会において現役生並びにOBの活動内容が報告され最後は「山の歌」と応援歌「翠巒」の斉唱で会がお開きとなりました。

近年は翠巒祭での現役生との交換会も、毎年行われており現在の部活動の内容などが、昔のものと大きく変わっていることを実感しております。又、現役生の総体での成績は、近年目覚ましいものがあり、いつの日か県総体での優勝という結果をもたらしてくれることを期待しております。

また、OB会員自身も、再び山にチャレンジしている方が増えてきております。毎年定期的にOB会の山行が計画されており、参加者も少しずつ増えております。若い頃の山登りとは別な目標を持ち、マイペースで楽しむことができるのが山登りの醍醐味かと思われます。

以上の内容については山岳部OB会のホームページにて写真付きで紹介させていただいております。翠巒体育会のホームページよりリンクできますので是非ご覧になっていただきたいと思います。

《高崎高校運動部の活動報告》

先輩がんばってます



水泳部

野口 直央

水泳部は山田先生、渡辺先生のご指導のもと、3年生4名、2年生4名、1年生1名の計9名で活動しています。水泳部員は各々がスイミングスクールまたは学校のプールで練習をしており、個人種目、リレーともにベストタイムの更新を目指し、日々厳しい練習を重ねています。

昨年度は、個人、リレーともに関東大会出場を果たし、個人ではインターハイ3位という好記録を残すことができました。

今年度の目標として、個人、リレーでの県大会上位入賞と関東大会出場、そして全国大会出場を掲げています。目標のための自己の課題を発見して克服してゆき、夏の大会で大いに活躍したいと思っています。応援よろしくお願いします。